事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0180
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　西村　健
所属　1303　都市計画部都市計画課　記入者　上田　真由美
事務事業番号　00759　都市景観形成推進事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	007　悠久の歴史と文化を大切にし、次代に継承します				
施策	017　古都にふさわしい景観づくり				
取組の方向性	001　次代に引き継ぐ景観づくり				
事務事業	001　都市景観形成推進事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	景観法・古都保存法・都市計画法（風致地区）等				
事業概要	（事業概要） 古都大津にふさわしい景観づくりを推進するため、景観法や古都保存法等の法令による規制・誘導を行うとともに、必要な事項を景観審議会に諮問することにより、良好な景観形成に努めている。また、美しい古都大津の景観を守り育て、次世代に引き継ぐことを目的とした景観絵画展を開催し、景観形成の推進に対する市民意識の醸成を図るとともに、景観アドバイス制度による景観づくり相談会を実施し、都市機能と景観保全が調和したまちづくりを推進している。 さらに、琵琶湖を挟んで互いに眺望しあう関係にある草津市との連携により、近江八景と東海道でつながる広域的景観の保全を図る。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 市民の景観に対する意識の変化や、景観行政を取り巻く環境が変化していることが、令和３年度に実施したアンケート調査の結果から示されており、今後、美しい景観を次世代につなげていくため、長期的な取組が必要とされている。 （見直しや改善等の経過） 近年の社会情勢の変化や景観に対する市民意識等を踏まえ、令和４年度から令和６年度までの３ヵ年をかけて第２次大津市景観計画の策定を行った。また、令和３年度には市民又は事業者が実施する景観づくりを支援する景観アドバイス制度を創設した。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	本市の美しく風格ある景観を
目的(何のために)	市民共有の財産として守り育て次世代に引き継ぐために
手段(どのようなやり方で)	景観法や古都保存法等の法令に基づく規制・誘導とともに、良好な景観形成に対する市民・事業者の意識啓発を実施することで
成果(どのような状態にするのか)	都市の発展や、歴史・自然と調和したものとする

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	25,762	18,042	15,319	24,031	14,802	14,802	14,802
事業費	13,184	3,122	3,599	12,311	3,082	3,082	3,082
国庫支出金	5,779	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	7,405	3,122	3,599	12,311	3,082	3,082	3,082
人件費計	12,578	14,920	11,720	11,720	11,720	11,720	11,720
事務・技術（人）	1.51	1.70	1.30	1.30	1.30	1.30	1.30
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.20	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0180
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1303　都市計画部都市計画課
事務事業番号　00759　都市景観形成推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-40-20-05-31-00-01-00	都市景観形成推進事業費	都市計画部都市計画課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)市民啓発事業等の開催数	件	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
		2.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)草津市との連携会議開催数	回	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
		4.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)景観絵画展への作品出展数	点	700.00	700.00	700.00	700.00	700.00	700.00	700.00
		915.00	974.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)東海道統一案内看板設置数	基	20.00	21.00	22.00	23.00	24.00	25.00	26.00
		21.00	22.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	法令等基づく規制・誘導や市民啓発事業は、市が担う必要がある。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	良好な景観形成が概ね推進できている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	市民や事業者、草津市と連携し、効率的に事業を実施している。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	長期的な事業の継続は、有効である。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	令和７年度に施行した第２次大津市景観計画に基づく規制・誘導や、景観アドバイス制度を通じて良好な景観の形成や保全が推進されているところである。また、景観絵画展などの市民啓発事業については、良好な景観形成意識の醸成に寄与していることから、今後も継続して実施していく。 草津市との景観連携においては、「景観づくりチャレンジ隊」などの市民啓発事業に取り組んでおり、民間事業者の協力により東海道統一案内看板が市内に２２基設置されるなど、成果をあげている。今後も両市の連携のもと、啓発事業を継続しながら着実に広域景観形成を推進する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	令和７年度から施行した第２次大津市景観計画に基づく規制・誘導や啓発事業に取り組み、引き続き市民や事業者と協働し、自然、歴史及び文化が調和した古都大津にふさわしい風格ある景観の実現に努める。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1303　都市計画部都市計画課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00759　都市景観形成推進事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)市民啓発事業等の開催数	件	2.00 2.00	2.00 2.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00
	指標説明	市民啓発事業等の開催数						
(活動)草津市との連携会議開催数	回	3.00 4.00	3.00 3.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00
	指標説明	びわこ大津草津景観推進協議会、びわこ東海道景観協会の開催数（令和７年度より事業統合のため、景観施策促進事業から移行した。）						
(成果)景観絵画展への作品出展数	点	700.00 915.00	700.00 974.00	700.00 0.00	700.00 0.00	700.00 0.00	700.00 0.00	700.00 0.00
	指標説明	市民啓発事業である景観絵画展への作品出展数（令和７年度より成果指標とする。）						
(成果)東海道統一案内看板設置数	基	20.00 21.00	21.00 22.00	22.00 0.00	23.00 0.00	24.00 0.00	25.00 0.00	26.00 0.00
	指標説明	市内における東海道統一案内看板の設置数（令和７年度より事業統合のため、景観施策促進事業から移行した。）						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0181
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　西村　健
所属　1303　都市計画部都市計画課　記入者　村田　浩之
事務事業番号　01879　都市計画施策調整事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	010　コンパクトで質の高い持続可能なまちにします				
施策	023　持続可能で活力ある地域形成				
取組の方向性	003　個性や資源を生かした地域形成				
事務事業	003　都市計画施策調整事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	都市計画法				
事業概要	（事業概要） 誰もが安全・安心・快適に住み続けられるコンパクト＋ネットワークのまちづくりを推進していくため、地域拠点・生活拠点の設定をはじめ、拠点に必要な都市機能の明確化、魅力あふれる都心エリアの充実、交通ネットワークの再構築、湖西台地区の土地利用に向けた検討に取り組む。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 人口の急激な減少と高齢化を背景として、高齢者や子育て世代にとって、安心できる健康で快適な生活環境を実現すること、財政面及び経済面において持続可能な都市経営を可能とすることが必要となっている。 （見直しや改善等の経過） 令和３年度に立地適正化計画を策定し各種誘導施策の取組を進めるとともに、令和６年度には用途地域見直しに向けたニーズ調査を行った。令和７年度はこの結果から、既存工業系用途地域の見直しの必要性や見直しに伴う代替地の必要性などの整理を行った。また湖西台地区については、令和６年度に県産業用地開発事業に採択された。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	大津市全域を
目的(何のために)	少子高齢化や人口減少社会においても安心、快適に住み続けられるまちとするために
手段(どのようなやり方で)	都市計画マスタープランにおける将来都市構造の基本的な考え方に基づく取組を推進することで
成果(どのような状態にするのか)	コンパクトで質の高い持続可能な都市構造を構築する

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	20,879	10,724	22,329	14,946	14,946	21,200	21,200
事業費	10,349	724	11,129	3,746	3,746	10,000	10,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	10,349	724	11,129	3,746	3,746	10,000	10,000
人件費計	10,530	10,000	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200
事務・技術（人）	1.35	1.25	1.40	1.40	1.40	1.40	1.40
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0181
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1303　都市計画部都市計画課
事務事業番号　01879　都市計画施策調整事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-40-20-05-06-00-17-00	都市計画施策調整事業費	都市計画部都市計画課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)都市計画に関する検討会議数	回	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
		3.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)ＤＩＤ地区内の人口密度	人/__	6,770.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		6,840.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)居住誘導区域内の人口密度	人/ha	73.90	73.90	73.90	73.90	73.90	73.90	73.90
		74.51	74.64	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	都市計画法に基づき市が主体的に行う施策調整事業である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	立地適正化計画を策定し推進することで徐々に成果を上げている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	B
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	都市計画審議会等の開催により効率的に事業を推進できた。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	コンパクトな都市構造の構築に貢献できている。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	工業系用途地域について、令和６年度に見直しに向けたニーズ調査を実施した結果、多くの企業が事業用地を選定する上で、必要な面積の確保、用地価格、人材・労働力の確保、通勤・操業環境等の条件を重視していることや、拠点の新設を検討している企業が一定数あることが把握できた。このことから、滋賀県が実施している都市計画に関する基礎調査の結果を踏まえ、引き続き、都市計画マスタープランに基づく実状に応じた用途地域変更の検討を行う。 また、湖西台地区については、県産業用地開発事業に採択され、令和７年度に基本計画が示された。今後は、令和１４年度の完了予定に向けて、県、市関係部局との連携を図り、事業を推進していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	持続可能なまちづくりを進めるため、市民・事業者のニーズを適切に判断し、引き続き土地利用に即した用途地域の見直し検討を進める。また、湖西台地区の土地利用に向けて、滋賀県及び本市産業観光部ほか関係部局との連携を深め、産業用地開発事業の推進に努める。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1303　都市計画部都市計画課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　01879　都市計画施策調整事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)都市計画に関する検討会議数	回	3.00 3.00	3.00 2.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00
	指標説明	都市計画マスタープランや立地適正化計画に即したまちづくりとするための検討会議数。						
(成果)ＤＩＤ地区内の人口密度	人/＿	6,770.00 6,840.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	令和３年度（国勢調査調査翌年度）のＤＩＤ地区内の人口密度を基準とする。						
(成果)居住誘導区域内の人口密度	人/ha	73.90 74.51	73.90 74.64	73.90 0.00	73.90 0.00	73.90 0.00	73.90 0.00	73.90 0.00
	指標説明	令和元年度末の人口密度（73.9人/ha）以上（現状維持）を基準とする。（大津市立地適正化計画の指標）						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0182
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　鎌田　幸城
所属　1306　都市計画部都市魅力創造課　記入者　小澤　孝輔
事務事業番号　01898　都市再生活動促進事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	005　インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします				
施策	013　まちの魅力を生かしたにぎわいの創出				
取組の方向性	001　なぎさ公園周辺魅力向上プロジェクトの推進				
事務事業	004　都市再生活動促進事業				
運営方法	民間委託				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	都市再生特別措置法				
事業概要	大津駅から湖岸へのさらなる回遊性の向上やにぎわいの創出に向け、官民連携により、大津駅前の公共空間の利活用促進や大津港周辺におけるにぎわい創出に向けた取組を進めていく。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	第２期大津市中心市街地活性化基本計画が終了したが、引き続き大津駅から湖岸へのさらなる回遊性の向上やにぎわいの創出に向けた取組を進めている。また、滋賀県において大津港活性化・再整備基本計画の策定が予定されており、連携して取り組んでいく必要がある。 にぎわいの創出に当たっては官民連携による取組が必要であり、大津駅周辺においては、駅前広場等を利活用する事業者の発掘及び育成のため、実践的な講座や伴走支援を行った。大津港周辺においては、官民連携組織であるエリアプラットフォームを設立し、エリアビジョンを策定した。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	大津駅から湖岸への
目的(何のために)	回遊性の向上やにぎわいの創出を目的に
手段(どのようなやり方で)	官民連携のもと取組を進めることで
成果(どのような状態にするのか)	さらなる回遊性の向上やにぎわいを創出する

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	19,348	25,557	15,012	18,012	18,012	18,012	18,012
事業費	8,428	13,557	3,012	6,012	6,012	6,012	6,012
国庫支出金	4,236	6,999	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	4,192	6,558	3,012	6,012	6,012	6,012	6,012
人件費計	10,920	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
事務・技術（人）	1.40	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0182
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1306　都市計画部都市魅力創造課
事務事業番号　01898　都市再生活動促進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-40-20-05-29-00-19-00	都市再生促進事業費	都市計画部都市魅力創造課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(成果)琵琶湖観光客入込数	万人／年	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00
		102.42	119.62	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	B
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	民間が参入し、経済活動を展開できる環境を整備している。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	官民連携で事業展開する機運が高まっている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	B
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	官民の役割を整理し、効率的に事業展開できるよう進めている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	B
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	官民連携で事業を展開することで目標達成につなげている。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント（４００文字）	大津駅から湖岸への動線づくりを目的として、大津駅前では公共空間を利活用するプレーヤーを発掘・育成するため、講座や伴走支援を令和６年度に引き続き実施した。このことにより、イベント主催者や出店者が増え、公共空間の年間利活用日数が令和５年度の５日から令和６年度は７４日、令和７年度は８３日と段階的に増加した。一方、大津港周辺ではにぎわい創出に向けた土台づくりとして、官民連携組織である大津港周辺エリアプラットフォームを設立するとともに、エリアビジョンを策定した。引き続きエリアの魅力向上、にぎわい創出に向けて、官民連携のもと取組を進めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント（４００文字）	大津駅前については、イベント主催者への伴走支援等を通じて公共空間の年間利活用日数も段階的に増加しており、大津港周辺については、エリアプラットフォームが設立され、官民連携で取り組んでいく機運醸成が図られた。特に大津港については、今後、滋賀県による大津港活性化・再整備計画が予定されていることから、その内容や周辺事業者の動向を見極めながら、更なるエリアの魅力向上、にぎわい創出に向けて官民連携のもと取組の推進に努める。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1306　都市計画部都市魅力創造課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　01898　都市再生活動促進事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(成果)琵琶湖観光客入込数	万人／年	150.00 102.42	150.00 119.62	150.00 0.00	150.00 0.00	150.00 0.00	150.00 0.00	150.00 0.00
	指標説明	琵琶湖湖岸周辺の施設やイベント等の観光客入込数						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0183
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　中井　英紀
所属　1809　都市計画部公園緑地課　記入者　曽我　健太
事務事業番号　00008　児童遊園地維持管理事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	002　子どもを守る仕組みの充実				
取組の方向性	003　子ども・若者の健やかな育ちの支援				
事務事業	016　児童遊園地維持管理事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	児童福祉法、都市計画法				
事業概要	（事業概要） 児童厚生施設に準じた遊び場として６３７箇所、概ね１，０００㎡以下の小規模な公園を児童遊園地として位置付け、安全管理を最優先とし、地域の協力を得て快適な遊び場となるよう整備・維持管理に努めている。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 子どもたちが、日常から利用する児童遊園地では、安全確保が求められている。市内では、宅地開発により、年々、児童遊園地が増加している。一方、少子高齢化など社会状況の変化に伴い、市民ニーズを反映したあり方検討が求められている。 （見直しや改善等の経過） 職員による日常点検に加え、専門業者による遊具点検を実施し、劣化が進行した遊具の修繕等を行ってきた。また、地域と市との協働管理を目指したモデル事業を進めるとともに、地域ニーズに合わせた用途変更や、借地による児童遊園地の返還など数の抑制を行っている。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	児童遊園地
目的（何のために）	生活や遊びの中で自主性や社会性を育てるため。
手段（どのようなやり方で）	都市公園における遊具の安全確保に関する指針に準じ、日々点検・対応している。
成果（どのような状態にするのか）	安全で快適に遊ぶことができ、地域コミュニティを形成する場所となる。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	105,622	102,400	119,115	125,215	125,215	125,215	125,215
事業費	76,272	74,400	90,015	96,115	96,115	96,115	96,115
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	3,321	539	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
一般財源	72,951	73,861	88,515	94,615	94,615	94,615	94,615
人件費計	29,350	28,000	29,100	29,100	29,100	29,100	29,100
事務・技術（人）	1.65	1.40	1.30	1.30	1.30	1.30	1.30
技能労務（人）	1.60	1.60	2.20	2.20	2.20	2.20	2.20
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	1.60	1.60	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0183
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1809　都市計画部公園緑地課
事務事業番号　00008　児童遊園地維持管理事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-40-20-25-06-00-75-00	児童遊園地維持管理事業費	都市計画部公園緑地課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)遊具等の安全点検の実施率	率	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
(成果)安全性の確保（事故発生件数）	件	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
(成果)適正化箇所数	個所	8.00 2.00	8.00 5.00	8.00 0.00	8.00 0.00	8.00 0.00	8.00 0.00	8.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	B
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	地域住民との協働管理を取り組んでいく。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	利用されている場所については快適に利用されている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	B
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	直営管理により迅速な対応が行えている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	B
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	地域の身近な憩いの場として施策の貢献度は高い。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	事業の進め方に改善が必要	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	令和７年度は、宅地開発により８個所の帰属を受け児童遊園地数が６４４個所まで増加した。一方で、児童の遊び場として役割を終えた借地による児童遊園地の返還や、地域の防災活動用地への用途変更などを行い、５個所を削減した。引き続き借地の返還や、開発行為に伴う基準の見直しを取り組んでいく。 また、利用者の安全を最優先した適切な維持管理が実施できており、引き続き適正な維持管理に努め、協働管理については、これまでの結果を踏まえ、令和８年度からは、地域住民が利用しながら管理を行う内容に改め、モデル事業として実施する。		

【部局評価結果】

総合評価	事業の進め方に改善が必要	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	児童遊園地の増加に伴い維持管理の在り方を見直すとともに、児童遊園地数の抑制や持続可能な協働管理の取り組みについて検討し、安心・安全な子どもの遊び場を提供に努める。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1809　都市計画部公園緑地課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00008　児童遊園地維持管理事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)遊具等の安全点検の実施率	率	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	児童遊園地における遊具等の安全点検の実施率						
(成果)安全性の確保（事故発生件数）	件	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	児童遊園地内での事故発生件数						
(成果)適正化箇所数	個所	8.00 2.00	8.00 5.00	8.00 0.00	8.00 0.00	8.00 0.00	8.00 0.00	8.00 0.00
	指標説明	適正化を実施した遊園地数（箇所）						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0184
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　中井　英紀
所属　1809　都市計画部公園緑地課　記入者　曽我　健太
事務事業番号　02397　公園愛護会管理運営事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	004　つながりを大切にし、共に支え合うまちにします				
施策	010　地域コミュニティの維持・活性化				
取組の方向性	002　市民協働の推進				
事務事業	001　公園愛護会管理運営事業				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	都市公園法　大津市都市公園条例				
事業概要	（事業概要） 第４次大津市緑の基本計画に定めた「協働による緑のまちづくりの促進」に向け、公園愛護会（地域の自治会などの団体）と公園管理者との役割を分担したうえで、住民主体の都市公園の清掃活動に対する支援を行う。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 公園愛護会への新たな加入がある一方で、愛護会会員の高齢化等により退会や解散する団体もある。 （見直しや改善等の経過） 公園愛護会と都市公園の指定管理者が連携を図ることで、公園の維持管理が充実している。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	地域の自治会が承認する団体に対して、
目的(何のために)	地域にある都市公園を美しく維持するために、
手段(どのようなやり方で)	清掃活動の実績に応じて報償費を支払うことで、
成果(どのような状態にするのか)	公園の美化を維持するとともに、市民協働で公園管理を図る。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	6,225	6,176	7,164	7,208	7,208	7,208	7,208
事業費	5,835	5,776	6,764	6,808	6,808	6,808	6,808
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	5,835	5,776	6,764	6,808	6,808	6,808	6,808
人件費計	390	400	400	400	400	400	400
事務・技術（人）	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0184
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1809　都市計画部公園緑地課
事務事業番号　02397　公園愛護会管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-40-20-25-06-00-05-00	協働による維持管理事業費	都市計画部公園緑地課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)公園愛護会数	団体	100.00 95.00	100.00 98.00	105.00 0.00	105.00 0.00	105.00 0.00	105.00 0.00	105.00 0.00
(成果)公園愛護会が清掃活動する公園数	公園	100.00 96.00	100.00 99.00	105.00 0.00	105.00 0.00	105.00 0.00	105.00 0.00	105.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	B
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	地域の自治会が承認する団体が活動しており妥当である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	活動実施団体数及び公園数が増加し、成果が上がっている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	B
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	月１回以上の清掃活動を実施しており、公園の美観が保たれている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	協働による公園管理により、協力してまちづくりに取り組めている			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	新たな登録団体がある一方で、高齢化が進み解散する団体もあり、団体数が伸び悩んでいることから、周知啓発等を積極的に行い施策の持続可能性について引き続き検討を行う。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	公園愛護会の活動は、公園の維持管理や市民協働による緑のまちづくりの推進において大きな役割を担っている。近年は高齢化により担い手の確保が課題となっていることから、引き続き団体数の維持を図るとともに、若い世代を含めた幅広い参加につながるよう周知啓発に努める。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1809　都市計画部公園緑地課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　02397　公園愛護会管理運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)公園愛護会数	団体	100.00 95.00	100.00 98.00	105.00 0.00	105.00 0.00	105.00 0.00	105.00 0.00	105.00 0.00
	指標説明	登録公園愛護会の団体数						
(成果)公園愛護会が清掃活動する公園数	公園	100.00 96.00	100.00 99.00	105.00 0.00	105.00 0.00	105.00 0.00	105.00 0.00	105.00 0.00
	指標説明	公園愛護会が清掃活動する公園数						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0185
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　中井　英紀
所属　1809　都市計画部公園緑地課　記入者　奥川　豪
事務事業番号　04192　なぎさ公園周辺魅力向上プロジェクト事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	005　インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします				
施策	013　まちの魅力を生かしたにぎわいの創出				
取組の方向性	001　なぎさ公園周辺魅力向上プロジェクトの推進				
事務事業	009　なぎさ公園周辺魅力向上プロジェクト事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	都市公園法　大津市都市公園条例				
事業概要	（事業概要） 竣工から20年以上が経過している大津湖岸なぎさ公園について、老朽化が進む公園施設の長寿命化対策や安全対策を進めるとともに、社会情勢の変化やニーズの多様化などにあわせた公園の多機能化や魅力向上に向けた調査・検討及び再整備を行う。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 園路などの公園施設の老朽化が進む中、公園駐車場の駐車台数は減少傾向にあり、公園利用者の減少や利用時間の偏りがみられる。一方で、社会情勢の変化やライフスタイルの多様化などによる公園の多機能化に対応するため、国においても都市公園法が改正され、民間活力による公園整備の仕組みが整えられるなど、公園の魅力向上に向けた再整備の機運が高まっている。 （見直しや改善等の経過） 令和２年度から全庁的な組織としてなぎさ公園周辺魅力向上プロジェクトを立ち上げ、公園駐車場料金設定見直しや市民プラザ再整備事業など、なぎさ公園とその周辺の魅力向上に向けた取り組みを進めている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	大津湖岸なぎさ公園において、
目的(何のために)	安心安全な公園づくりとともに、新たなにぎわいを創出するため、
手段(どのようなやり方で)	長寿命化対策、安全対策、民間活力の活用やエリアごとに特色を持たせた再整備を実施することにより、
成果(どのような状態にするのか)	近隣住民だけでなく広く県内外から多様な人々が集い、滞在できる公園とする。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	348,620	83,248	52,819	48,236	48,236	48,236	48,236
事業費	335,594	73,248	44,019	39,436	39,436	39,436	39,436
国庫支出金	139,799	36,122	21,000	18,500	18,500	18,500	18,500
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	125,800	32,500	18,900	16,650	16,650	16,650	16,650
その他	9,872	567	0	3,165	3,165	3,165	3,165
一般財源	60,123	4,059	4,119	1,121	1,121	1,121	1,121
人件費計	13,026	10,000	8,800	8,800	8,800	8,800	8,800
事務・技術（人）	1.67	1.25	1.10	1.10	1.10	1.10	1.10
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0185
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1809　都市計画部公園緑地課
事務事業番号　04192　なぎさ公園周辺魅力向上プロジェクト事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-40-20-25-36-00-07-00	なぎさ公園周辺魅力向上プロジェクト事業費	都市計画部公園緑地課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
（活動）ＬＥＤ化した公園灯の基数	基	20.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
		38.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（成果）なぎさ公園駐車場駐車台数	台	203,000.00	209,000.00	215,000.00	221,000.00	221,000.00	221,000.00	221,000.00
		162,020.00	217,968.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	B
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	魅力向上に資する再整備が進んでいる。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	にぎわい創出拠点の整備により、県内外から人が集まっている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	官民連携手法の活用により行政コストを抑えている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	なぎさ公園周辺の魅力向上につながっている。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント（４００文字）	なぎさ公園のさらなる魅力向上のため、公募設置管理制度（Park-PFI）を活用して再整備したLAGO 大津については、オープンから１年間で８０万人以上の方が来場し、本市の新たなにぎわい創出拠点として大きな役割を果たしている。また、令和６年度になぎさ公園駐車場の料金体系を見直したことにより、駐車場の利用台数も増加しており、本市を代表する公園として多くの方に利用されている。今後は、サンシャインビーチエリアの再整備など、他のエリアの改修を進めることにより、なぎさ公園全体での周遊性・滞在性の向上を図ることが重要であり、計画どおり事業を進めることが適当である。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント（４００文字）	「LAGO 大津」をはじめとした官民連携による公園のにぎわい創出を図るとともに、なぎさ公園周辺魅力向上プロジェクトにおける各部局の事業や大津港などにおける滋賀県の取り組みとも連携し、なぎさ公園の魅力向上に向けた事業の推進に努める。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1809　都市計画部公園緑地課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　04192　なぎさ公園周辺魅力向上プロジェクト事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
（活動）ＬＥＤ化した公園灯の基数	基	20.00 38.00	10.00 0.00	10.00 0.00	10.00 0.00	10.00 0.00	10.00 0.00	10.00 0.00
	指標説明	長寿命化対策によりＬＥＤ化した公園灯の数						
（成果）なぎさ公園駐車場駐車台数	台	203,000.00 162,020.00	209,000.00 217,968.00	215,000.00 0.00	221,000.00 0.00	221,000.00 0.00	221,000.00 0.00	221,000.00 0.00
	指標説明	なぎさ公園駐車場の年間駐車台数（LAGO 大津駐車場を除く）						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0186
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　米沢　昌彦
所属　1810　都市計画部住宅政策課　記入者　吉田　靖洋
事務事業番号　00984　住宅管理事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	010　コンパクトで質の高い持続可能なまちにします				
施策	025　住環境の整備				
取組の方向性	003　市営住宅の適正管理				
事務事業	001　住宅管理事業				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	公営住宅法				
事業概要	（事業概要） 住宅に困窮する低額所得者に対し、低廉な家賃の市営住宅を供給する。 管理戸数２，７７５戸（改良住宅３８６戸、特定の条件を付した特定公共賃貸住宅４９戸を含む）を対象とする。 入居者の選考、不正入居者の対応、システム管理など市営住宅の管理に係る事業を実施している。また、令和２年度から指定管理者制度を導入しており、モニタリングを通じて適正な運用を図っている。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 社会環境の複雑化に伴い、単身高齢者等の住宅確保要配慮者への低廉な住宅の供給が必要となっている。一方、昭和４０年から５０年代に建設され、築年数が経過した多くの市営住宅が、今後、耐用年限を迎える。 （見直しや改善等の経過） 大津市住宅マネジメント計画の基本方針に基づき、令和２年度から指定管理者制度を導入して、市営住宅の適正な管理を進めている。また、耐用年限が経過した市営住宅については、入居者の住み替えを進めるとともに、住み替えが完了した住棟は用途廃止を進めている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市内在住又は在勤の住宅に困窮している低額所得者。
目的(何のために)	住宅に困窮する低額所得者に対し、低廉な家賃の住宅を供給する。
手段(どのようなやり方で)	定期空家募集を行うとともに特定目的住宅の整備を進め、指定管理者制度により市営住宅の適正な管理を行う。
成果(どのような状態にするのか)	住宅に困窮する低額所得者に対する住宅確保と社会福祉の増進に寄与。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	360,433	290,479	307,325	304,014	304,014	304,014	304,014
事業費	323,673	251,679	272,925	269,614	269,614	269,614	269,614
国庫支出金	0	0	7,821	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	323,673	251,679	265,104	251,920	251,919	251,919	251,919
一般財源	0	0	0	17,694	17,695	17,695	17,695
人件費計	36,760	38,800	34,400	34,400	34,400	34,400	34,400
事務・技術（人）	4.20	4.30	3.75	3.75	3.75	3.75	3.75
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0186
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1810　都市計画部住宅政策課
事務事業番号　00984　住宅管理事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-40-25-05-16-00-01-00	住宅管理事業費	都市計画部住宅政策課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)募集戸数	戸	120.00	120.00	120.00	120.00	120.00	120.00	120.00
		120.00	120.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)特定目的住宅整備戸数	戸	0.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00
		0.00	15.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)特定目的住宅整備戸数	戸	15.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		15.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)募集した住戸への入居率	入居率	0.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00
		0.00	36.66	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	公営住宅法に基づき、地方公共団体が公営住宅を提供している			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	計画通り空家募集を行い、低額所得者へ不足なく住宅提供ができた			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	B
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	指定管理者制度を運用し、計画に基づき用途廃止を進めている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	住宅確保が必要な低額所得者に低廉な家賃で住宅を提供している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	公営住宅法に基づき、市営住宅を整備することにより、住宅に困窮する低額所得者に住宅を提供するとともに、より困窮度が高く、住宅確保に配慮が必要な高齢者や障害者を募集対象とする特定目的住宅を、計画通り１５戸整備し、住宅セーフティネット機能の確保を図った。また、管理については、大津市住宅マネジメント計画に基づき、令和２年度から指定管理者制度を導入しており、定期的な打ち合わせによる課題共有や、モニタリングによる評価を実施するとともに、緊急時の２４時間３６５日対応や、提案事業による高齢世帯の見守り事業、空き駐車場のコインパーキング設置等、引き続き指定管理者と連携し適正な管理・運営を進めていく。また、耐用年限が経過した市営住宅の用途廃止については、入居者の住替えを進めた結果、令和７年度は６戸の住替えを完了し、計画期間内に７団地、１７６戸の用途廃止を行った。引き続き、管理戸数の適正化に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	住宅に困窮する低額所得者に対して市営住宅を提供するとともに、より困窮度が高い高齢者等を募集対象とする特定目的住宅の整備を行い、住宅セーフティネット機能の確保を進める。また、市営住宅の管理については、引き続き、指定管理者と連携し、入居者に対するサービスの向上に努め、適正な管理運営を推進していくとともに、耐用年限が経過した市営住宅については、大津市住宅マネジメント計画に基づき、入居者の住替えと用途廃止を進めて管理戸数の適正化を図る。なお、大津市住宅マネジメント計画が令和８年度に終期を迎えることから、空家対策、マンション施策、市営住宅などの住宅関連計画をとりまとめた、大津市住生活基本計画の策定を進める。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1810　都市計画部住宅政策課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00984　住宅管理事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)募集戸数	戸	120.00 120.00	120.00 120.00	120.00 0.00	120.00 0.00	120.00 0.00	120.00 0.00	120.00 0.00
	指標説明	空家募集戸数（年４回）（１回あたり３０戸募集、年間１２０戸を目標値とする） 住宅に困窮する低額所得者に対して、住宅を提供する。						
(活動)特定目的住宅整備戸数	戸	0.00 0.00	15.00 15.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00
	指標説明	住宅セーフティネットとして、より困窮度が高く住宅の確保に配慮を必要とする高齢者や障害者等を対象とした 、住宅確保要配慮者向け特定目的住宅の整備を進める。						
(成果)特定目的住宅整備戸数	戸	15.00 15.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	住宅セーフティネットの確保（住宅確保要配慮者向け特定目的住宅の拡充） ※令和７年度からは活動指標とするため、成果指標としては廃止する。						
(成果)募集した住戸への入居率	入居率	0.00 0.00	50.00 36.66	50.00 0.00	50.00 0.00	50.00 0.00	50.00 0.00	50.00 0.00
	指標説明	住宅に困窮する低額所得者に対して、特定目的住宅の整備も踏まえて、住宅を不足なく提供することが出来ている成果指標として、募集戸数の50%程度の新規入居戸数を設定した。						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0187
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　米沢　昌彦
所属　1810　都市計画部住宅政策課　記入者　長谷川　祐介
事務事業番号　02654　空家等対策事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	010　コンパクトで質の高い持続可能なまちにします				
施策	025　住環境の整備				
取組の方向性	002　空き家の適正管理				
事務事業	001　空家等対策事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	空き家等対策の推進に関する特別措置法				
事業概要	（事業概要） 人口減少・少子高齢化等を背景に、近年空き家の増加による地域の住環境やコミュニティへの影響が深刻化してきている。このことから、空家等対策の推進に向け、平成３０年３月に策定した「大津市空家等対策計画」に基づき、「予防」「適正管理」「利活用・流通」の３つの視点で、総合的かつ計画的に事業を進め、良好な住環境の確保及び持続可能なまちづくりに寄与することを目的とする。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 令和５年１２月の空家特措法の一部改正により、空き家の所有者等の責務が強化されるとともに、活用拡大に向けた支援法人制度の創設、管理不全空家等への指導・勧告による管理確保など、新たな対策の枠組みが整備された。 （見直しや改善等の経過） 上記法改正に伴い、新たに規定された管理不全空家等への指導や、相続人不在の空家等に対して財産管理制度を活用した相続財産清算人の選任申立を実施するとともに、本市独自の施策である定住促進リフォーム補助事業等を通じて、空き家発生の予防と利活用に取り組んできた。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	空家等の所有者、地域住民及び関連事業者等
目的（何のために）	空家等の予防、適正管理、利活用・流通の促進
手段（どのようなやり方で）	管理不全な有害空家等に関する改善指導等、官民連携の体制構築、定住促進リフォーム補助事業等の実施等
成果（どのような状態にするのか）	管理不全な有害空家等をなくし、定住促進やまちの賑わい創出に寄与する空家等の利活用が図られる

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	41,246	46,797	56,030	62,693	62,693	62,693	62,693
事業費	7,616	10,892	18,605	25,268	25,268	25,268	25,268
国庫支出金	0	0	0	5,558	5,558	5,558	5,558
県支出金	1,400	0	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	12	3,083	5,006	7,506	7,506	7,506	7,506
一般財源	6,204	7,809	12,599	11,204	11,204	11,204	11,204
人件費計	33,630	35,905	37,425	37,425	37,425	37,425	37,425
事務・技術（人）	3.25	3.31	3.50	3.50	3.50	3.50	3.50
技能労務（人）	0.00	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
再任用（人）	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80
会計年度任用（人）	0.91	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0187
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1810　都市計画部住宅政策課
事務事業番号　02654　空家等対策事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-40-05-15-06-00-16-00	空家等対策事業費	都市計画部住宅政策課
01-40-25-20-50-00-01-00	空家等対策事業費	都市計画部住宅政策課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)空き家等パトロール・現場調査の回数	回	72.00 76.00	72.00 86.00	72.00 0.00	72.00 0.00	72.00 0.00	72.00 0.00	72.00 0.00
(成果)管理不全な有害空家等の指導方針確定率	%	80.00 79.94	80.00 82.84	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	空家等の対策は全国的な問題であり、必要な事業である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	目標値を上回った。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	B
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	リフォーム補助事業の利用増加の一方、管理不全な空家の増加。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	住環境の向上や移住定住促進に繋げることとなり、貢献度は高い。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント（４００文字）	管理不全な空家等への対応については、パトロール・現場調査を積極的に実施するとともに、所有者調査や助言、情報提供などに取り組んだ。その結果、成果指標である管理不全な有害空家等の指導方針確定率については８３%となり、目標値を上回った。また、定住促進リフォーム補助事業については、２５世帯７０名の転入があり、空家の利活用と移住・定住を促進することができた。相続人不存在の空家については、財産管理制度を活用した申立てを１件行い、早期解決に努めた。一方、空き家の増加に伴い対策ニーズは年々高まっており、こうした需要増に的確に対応するため、事業の拡大を図る必要がある。令和８年度より、市町村の役割を補完する民間法人として空家等管理活用支援法人の募集・指定を行い、同法人と連携しながら、引き続き所有者への情報提供・助言・指導等による空家の適正管理促進に取り組んでいく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント（４００文字）	空き家問題は、本市に限らず、人口減少・少子高齢化を背景とした全国的な社会問題であり、今後さらに増加・深刻化することが見込まれる。令和５年の空家特措法改正をはじめとする国の動向を注視しつつ、「大津市空家等対策計画」に基づき、予防・適正管理・利活用の各視点から多様な手法を効果的に活用していく必要がある。引き続き、空家等管理活用支援法人をはじめとする関係機関との連携を強化し、管理不全空家等の発生抑制と良好な住環境の確保に向けて、計画的な事業の推進に努める。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1810　都市計画部住宅政策課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　02654　空家等対策事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)空き家等パトロール・現場調査の回数	回	72.00 76.00	72.00 86.00	72.00 0.00	72.00 0.00	72.00 0.00	72.00 0.00	72.00 0.00
	指標説明	市民等から苦情・通報のあった空き家等の現地確認及び継続指導物件のフォローアップ等のパトロールの回数						
(成果)管理不全な有害空家等の指導方針確定率	%	80.00 79.94	80.00 82.84	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00
	指標説明	苦情・通報等があった空き家等のうち、所有者に対する指導方針が確定した物件の割合						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0188
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　髙木　裕司
所属　1309　都市計画部建築指導課　記入者　増田　陽亮
事務事業番号　00212　耐震改修促進事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009　安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	020　災害に強いまちづくりの推進				
取組の方向性	001　建物や環境の安全性の確保				
事務事業	001　耐震改修促進事業				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	建築物の耐震改修の促進に関する法律、既存民間建築物耐震診断補助金交付要綱等				
事業概要	（事業概要） 旧の構造基準で建築された昭和５６年以前の民間建築物に対して耐震診断に要する費用の一部を補助する事業、市内木造住宅の耐震診断及び耐震補強案の作成を実施する耐震診断員派遣事業及び木造住宅の耐震改修等費用の一部を補助する事業の実施により、既存建築物の耐震性能の向上を図る。また避難路沿道に存するブロック塀撤去等の一部を補助する事業を実施し、災害時の倒壊による被害の防止を図っている。 上記支援事業及び市民への耐震化の重要性を周知啓発することにより、市民の防災に対する意識の向上を促すとともに、建築物の安全性を向上させ、災害に強いまちをつくることを目標とする。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 能登半島地震などの震度５クラス以上の中大規模地震が全国各地で頻発し、防災に対する意識が全国的に高まっている。耐震診断の義務付け等法の整備も後押しとなり民間建築物の耐震化が促進されている。 （見直しや改善等の経過） 更なる耐震化促進のため令和２年度から木造住宅耐震補強案作成事業を、令和３年度から木造住宅耐震改修等事業をそれぞれ再開したほか、令和３年度より新たにブロック塀撤去等促進事業を開始し、耐震化支援のための制度の充実を図っている。 また、令和７年度末に大津市既存建築物耐震改修促進計画を改定した。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	昭和５６年以前に建てられた民間建築物において
目的（何のために）	民間建築物の耐震性の向上を図るために
手段（どのようなやり方で）	木造住宅における耐震診断員派遣事業や耐震補強案作成事業の実施及び木造住宅耐震改修工事、建築物の所有者等が行う耐震診断、避難路沿道のブロック塀撤去等の費用の一部を補助、さらに各種制度の紹介資料作成やＤＭ送付等による周知啓発活動により
成果（どのような状態にするのか）	市民の防災に対する意識の向上を促すとともに、建築物の安全性を向上させ、災害に強いまちをつくる

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	21,960	27,308	25,051	24,976	24,976	24,977	32,326
事業費	11,420	13,508	14,211	14,136	14,136	14,137	21,486
国庫支出金	5,553	6,521	6,805	6,805	6,805	6,805	10,479
県支出金	1,703	1,749	3,651	3,651	3,651	3,651	3,651
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	4,164	5,238	3,755	3,680	3,680	3,681	7,356
人件費計	10,540	13,800	10,840	10,840	10,840	10,840	10,840
事務・技術（人）	1.30	1.67	1.30	1.30	1.30	1.30	1.30
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0188
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1309　都市計画部建築指導課
事務事業番号　00212　耐震改修促進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-40-05-15-06-00-06-00	耐震改修促進事業費	都市計画部建築指導課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)住宅の診断実施者への啓発通知件数	件	1,000.00	900.00	700.00	40.00	40.00	40.00	40.00
		1,050.00	698.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)住宅への戸別訪問による啓発活動件数	件	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)耐震補強案作成件数	件	20.00	40.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
		31.00	29.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)住宅の耐震改修実施件数（木造）	件	12.00	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00
		3.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	地震対策及び市民の耐震化に対する意識の向上に必要			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	補助事業に関する問い合わせは増加している			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	B
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	事業の充実及び継続実施により、耐震化に寄与することができる			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	耐震化の支援により、市民の生命を守ることに繋がる重要な事業			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	令和７年度末に終期を迎えた大津市既存建築物耐震改修促進計画においては、耐震化率の目標率（住宅９８%、特定建築物９７%）に対して、住宅が９４%、特定建築物が９１%であり、目標の達成はできなかった。 令和８年３月に改定した新たな計画においては、目標値を据え置くとともに計画期間を令和１７年度までとした。本計画の目標値の達成に向け、補助金額や補助対象の拡充を行うとともに、市民や建物所有者への直接的な働きかけや周知啓発を引き続き推進していく。あわせて、近年国からの交付金及び県からの補助金の内示率がともに低下していることから、事業の円滑な推進のため国及び県に対して予算確保を要望し、財源確保に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	近年、中大規模地震の頻発により、市民の防災への意識が高まってきている。令和８年３月に改定した大津市既存建築物耐震改修促進計画の目標達成に向け、耐震化促進への取組を強化するとともに、各事業の推進に必要な予算の確保に努める。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1309　都市計画部建築指導課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00212　耐震改修促進事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)住宅の診断実施者への啓発通知件数	件	1,000.00 1,050.00	900.00 698.00	700.00 0.00	40.00 0.00	40.00 0.00	40.00 0.00	40.00 0.00
	指標説明	木造住宅の耐震診断実施者に対し、耐震化を図る啓発文書を通知した件数						
(活動)住宅への戸別訪問による啓発活動件数	件	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00
	指標説明	旧耐震の住宅への戸別訪問による耐震化啓発活動件数 （令和８年度から指標名を「市民・事業者への啓発事業件数」に変更する）						
(成果)耐震補強案作成件数	件	20.00 31.00	40.00 29.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00
	指標説明	木造住宅耐震補強案作成事業を実施した件数						
(成果)住宅の耐震改修実施件数（木造）	件	12.00 3.00	8.00 3.00	8.00 0.00	8.00 0.00	8.00 0.00	8.00 0.00	8.00 0.00
	指標説明	耐震診断後に耐震改修を実施した住宅の数 （令和８年度から耐震改修実施件数に除却を含む）						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0189
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　中川　博嗣
所属　1811　建設部建設監理課　記入者　清水　祐太朗
事務事業番号　00935　放置自転車対策事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	010　コンパクトで質の高い持続可能なまちにします				
施策	024　交通ネットワークの充実				
取組の方向性	001　地域公共交通の維持・確保				
事務事業	011　放置自転車対策事業				
運営方法	民間委託				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	自転車法、及び大津市自転車等の放置防止に関する条例				
事業概要	（事業概要） 「大津市自転車等の放置防止に関する条例」に基づき設定した自転車等の放置禁止区域における『啓発・撤去・返還』業務を民間委託し、駅前広場等における自転車等の放置を防止することにより、良好な環境を確保し、その機能低下を防止する。大津市道上等の啓発・撤去については、直営及び民間委託で行っている。 放置禁止区域・・・小野駅周辺・堅田駅周辺・おごと温泉駅周辺・比叡山坂本駅周辺・唐崎駅周辺・大津京駅周辺・大津駅周辺・膳所駅周辺・石山駅周辺・瀬田駅周辺・びわ湖浜大津駅周辺				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） これまでの取組の結果、放置自転車の台数は着実に減少している。 （見直しや改善等の経過） 放置禁止区域における放置防止啓発作業の適切な人員配置や撤去日数の見直し等、効率化に努めている。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	自転車及び原動機付自転車の所有者または利用者
目的（何のために）	駅前広場や大津市道上における自転車・原動機付自転車の放置の防止のために
手段（どのようなやり方で）	放置防止の啓発活動並びに禁止区域及び大津市道上の放置自転車等の撤去を行うことにより
成果（どのような状態にするのか）	駅前広場等の良好な環境が確保され、その機能が保持されている。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	14,806	16,224	17,565	18,113	18,113	18,113	18,113
事業費	8,476	9,464	10,805	11,353	11,353	11,353	11,353
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	221	149	168	168	168	168	168
一般財源	8,255	9,315	10,637	11,185	11,185	11,185	11,185
人件費計	6,330	6,760	6,760	6,760	6,760	6,760	6,760
事務・技術（人）	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0189
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1811　建設部建設監理課
事務事業番号　00935　放置自転車対策事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-40-20-40-50-00-02-00	放置自転車対策事業費	建設部建設監理課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)啓発台数	台	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00
		443.00	376.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)撤去台数（違法駐車台数）	台	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00
		373.00	273.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	放置禁止区域・市道上の放置自転車は市でしか撤去できない			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	年々放置自転車が減少し、駅前の景観美化が保たれている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	南北にエリアを区切り少ない巡回で全域の放置自転車台数が減少			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	歩行者等の交通安全の確保及び街並みの美観に貢献			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	これまでの継続的な取組の成果により放置自転車等の啓発及び撤去台数は着実に減少しており、駅前広場等の良好な環境確保やその機能低下の防止はもとより、歩行者等の交通安全の確保や街並みの美観保持にも寄与できている。 定期巡回の時間や日程を避けて禁止区域に故意に駐車する利用者への対策として、不定期巡回を織り交ぜるなど、現体制の下で、より効果的・効率的な対策を講じつつ、今後も当課の所管事業として継続していくべきと考える。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	民間委託を活用した最小限の人員による効率的かつ継続的な事業運営により、啓発・撤去台数ともに毎年着実に減少している点は大いに評価できる。 市民の放置自転車に対する認知度は一定向上していることから、今後は、現体制を維持しつつ、現在の社会情勢や周辺環境の変化に見合った業務の見直しを検討したうえで取組を継続していく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1811　建設部建設監理課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00935　放置自転車対策事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)啓発台数	台	500.00 443.00	500.00 376.00	500.00 0.00	500.00 0.00	500.00 0.00	500.00 0.00	500.00 0.00
	指標説明	放置禁止区域内外における実啓発数（シール貼付数）						
(成果)撤去台数（違法駐車台数）	台	400.00 373.00	400.00 273.00	400.00 0.00	400.00 0.00	400.00 0.00	400.00 0.00	400.00 0.00
	指標説明	撤去台数（違反駐車台数）						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0190
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　小高　弥須夫
所属　1801　建設部地域交通政策課　記入者　中村　泰彰
事務事業番号　00897　公共輸送対策推進事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	010　コンパクトで質の高い持続可能なまちにします				
施策	024　交通ネットワークの充実				
取組の方向性	001　地域公共交通の維持・確保				
事務事業	001　公共輸送対策推進事業				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律				
事業概要	（事業概要） 令和３年３月策定の大津市地域公共交通計画に基づき、既存の地域公共交通の維持・確保を推進するとともに、デマンド型乗合タクシー等の新たな移動手段も活用して地域特性に応じた地域公共交通を実現し、誰もが安全・快適で、安心して暮らせる地域公共交通の実現を目指す。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 地域公共交通は、利用者数の減少や自動車運転手の労働環境の改善対応、運転手不足等により、路線バス事業において、厳しい経営環境が続くなど、既存の地域公共交通の維持・確保が重要な課題となっている。 （見直しや改善等の経過） 路線バスにおいては運行継続に向けた支援を行うとともに、路線バスが廃止等され代替交通手段の確保が困難な地域においては、地域住民・交通事業者と協働でデマンド型乗合タクシーを運行し、地域公共交通の確保に努めている。また、令和７年度末で、大津市地域公共交通計画が終期を迎えることから、新たに「第２次大津市地域公共交通計画」の策定を行った。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	交通事業者、地域住民、行政が
目的(何のために)	既存の地域公共交通を維持・確保するために
手段(どのようなやり方で)	大津市地域公共交通計画に掲げる各種事業を協働して実施することで
成果(どのような状態にするのか)	安全、快適で安心して暮らせる地域公共交通ネットワークが形成される

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	97,828	116,163	125,200	135,274	135,274	135,274	135,274
事業費	74,378	91,679	99,516	108,710	108,710	108,710	108,710
国庫支出金	0	0	675	675	675	675	675
県支出金	6,139	6,035	6,139	6,139	6,139	6,139	6,139
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	1,743	1,498	2,910	3,574	3,574	3,574	3,574
一般財源	66,496	84,146	89,792	98,322	98,322	98,322	98,322
人件費計	23,450	24,484	25,684	26,564	26,564	26,564	26,564
事務・技術（人）	2.95	3.00	3.15	3.26	3.26	3.26	3.26
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0190
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1801　建設部地域交通政策課
事務事業番号　00897　公共輸送対策推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-40-10-15-50-00-10-00	公共輸送対策推進費	建設部地域交通政策課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)公共交通の維持・確保に係る事業の実施数	事業	7.00 7.00	7.00 10.00	8.00 0.00	8.00 0.00	8.00 0.00	8.00 0.00	8.00 0.00
(成果)１日あたりの地域公共交通全体の利用者数	人／日	312,865.00 291,592.00	312,865.00 291,225.00	291,592.00 0.00	291,592.00 0.00	291,592.00 0.00	291,592.00 0.00	291,592.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	地域住民、交通事業者、行政が相互に連携し実施している			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	前年度と比較し徐々にではあるが成果は上がっている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	地域住民、交通事業者と連携し、効率的に事業が推進できている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	デマンド型乗合タクシー等により一定の移動手段が確保できている			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	地域公共交通は、利用者数の減少や運転手不足、燃料費の高騰等により、厳しい経営環境が続いている。この様な中、本市地域公共交通のマスタープランである大津市地域公共交通計画が、令和７年度末に終期を迎えたことから、新たに第２次大津市地域公共交通計画（計画期間：令和８年度から１２年度）を策定した。引き続き、新計画に基づく路線バス運行継続に向けた支援やデマンド型乗合タクシーの運行など、地域住民・交通事業者・行政の三者が協働し、既存の地域公共交通の維持・確保に取り組むとともに、新たな対策や施策についても積極的に調査・研究を進める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	地域公共交通の利用者数は、鉄道については回復傾向であるが、少子高齢化の進行や生活様式の変化等の影響も受け、コロナ前の水準に達していない状況である。また、交通事業者からは、深刻化する運転手不足や自動車運転手の労働時間の改善に向けた対応などを背景に、経営環境の厳しさが一層増しているとの声が寄せられている。 今後は、令和８年３月に策定した第２次大津市地域公共交通計画に基づき、既存の地域公共交通の維持が重要であるとの認識のもと、「地域公共交通の維持・確保」と「地域公共交通の利用促進・利便性向上」を基本方針とし取組を進める。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1801　建設部地域交通政策課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00897　公共輸送対策推進事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)公共交通の維持・確保に係る事業の実施数	事業	7.00 7.00	7.00 10.00	8.00 0.00	8.00 0.00	8.00 0.00	8.00 0.00	8.00 0.00
	指標説明	公共交通の維持・確保に係る本市及び活性化協議会が実施する事業数						
(成果)１日あたりの地域公共交通全体の利用者数	人／日	312,865.00 291,592.00	312,865.00 291,225.00	291,592.00 0.00	291,592.00 0.00	291,592.00 0.00	291,592.00 0.00	291,592.00 0.00
	指標説明	大津市内における１日あたりのＪＲ・京阪電車・路線バス・デマンド型乗合タクシーの利用者数 ※令和８年度以降は第２次大津市地域公共交通計画の目標値						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0191
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　南　康浩
所属　1804　建設部道路・河川管理課　記入者　坪田　成正
事務事業番号　00951　交通バリアフリー推進事業

【基本情報】

総合計画	04	大津市総合計画　第3期実行計画			
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります			
基本政策	010	コンパクトで質の高い持続可能なまちにします			
施策	024	交通ネットワークの充実			
取組の方向性	002	鉄道駅等のバリアフリー化の推進			
事務事業	002	交通バリアフリー推進事業			
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	道路法、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律				
事業概要	（事業概要） 大津市バリアフリー基本構想における重点整備地区に指定された京阪大津京駅、ＪＲ大津駅～京阪びわ湖浜大津駅周辺及びＪＲ膳所駅周辺の安全な交通環境を確保すべく、歩道の整備等のバリアフリー化を行う。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 高齢者、障害者等が自立した日常生活や社会生活を営むことのできる環境づくりが必要となっており、その実現には、高齢者、障害者等の全ての人々が平等にまちづくりに参加できることが不可欠となっている。 （見直しや改善等の経過） 大津市バリアフリー基本構想における重点整備地区において、市民、利用者の要望を踏まえ、施工箇所の優先順位等を見直してきた。 また、令和７年３月に策定された大津市移動等円滑化促進方針に基づき、市内の鉄道駅周辺地区から特にバリアフリー化が必要な７地区（１３駅）を選定し、生活関連施設及び生活関連経路を新たなエリアに含める。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	高齢者、障害者等が
目的(何のために)	自立した日常生活を送れるように
手段(どのようなやり方で)	歩道の段差の解消、勾配修正などの改修工事を実施することで
成果(どのような状態にするのか)	誰もが利用しやすい歩道空間が確保される

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	41,149	21,362	31,640	34,540	34,540	34,540	34,540
事業費	32,949	12,922	23,200	26,100	26,100	26,100	26,100
国庫支出金	11,232	0	7,150	12,485	12,485	12,485	12,485
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	5,500	11,008	14,300	12,100	12,100	12,100	12,100
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	16,217	1,914	1,750	1,515	1,515	1,515	1,515
人件費計	8,200	8,440	8,440	8,440	8,440	8,440	8,440
事務・技術（人）	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0191
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1804　建設部道路・河川管理課
事務事業番号　00951　交通バリアフリー推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-40-10-15-50-00-20-00	人にやさしい道づくり事業費	建設部道路・河川管理課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)整備箇所 １３３箇所	箇所	10.00 3.00	6.00 2.00	3.00 0.00	4.00 0.00	10.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
(成果)整備率	%	82.71 77.44	87.22 84.21	89.47 0.00	92.48 0.00	100.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	市道のバリアフリー化を図るため			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	誰もが利用しやすい歩道空間が確保されるため			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	道路の修繕も行っており、迅速かつコスト削減も図られているため			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	安全な交通環境の確保に寄与しているため			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント （４００文字）	引き続き、誰もが安心して快適に移動できる「人にやさしいまち」の実現に向けて、事業を継続していく。 移動等円滑化促進方針で設定された移動等円滑化促進地区（７地区）においても整備を進めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント （４００文字）	大津市移動等円滑化促進方針に基づき、重点整備地区のみならず新たなエリアについても、引き続き計画的な整備に取り組む。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1804　建設部道路・河川管理課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00951　交通バリアフリー推進事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)整備箇所 １３３箇所	箇所	10.00 3.00	6.00 2.00	3.00 0.00	4.00 0.00	10.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	整備箇所数　１３３箇所						
(成果)整備率	%	82.71 77.44	87.22 84.21	89.47 0.00	92.48 0.00	100.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	完工箇所数（累計）／全体整備箇所数　１３３箇所						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0192
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　南　康浩
所属　1804　建設部道路・河川管理課　記入者　福井　悠祐
事務事業番号　02207　道路照明灯ＬＥＤ化推進事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012　再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でグリーンなまちにし				
施策	029　脱炭素社会の推進				
取組の方向性	002　環境にやさしい市役所の率先実行				
事務事業	003　道路照明灯ＬＥＤ化推進事業				
運営方法	民間委託				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	道路法　道路構造令				
事業概要	（事業概要） 既存の市街灯・防犯灯の照明器具のＬＥＤ化を進める。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 市道等の夜間交通の安全確保に加え、市民の防犯意識の高まりから市街灯の設置要望が増加している。 （見直しや改善等の経過） 平成２３年度１１月以降、市街灯・防犯灯のうち、蛍光灯で維持管理しているものを中心に、老朽化した照明器具から順次ＬＥＤ照明器具に取り替えを進め、令和４年度で完了した。 令和５年度からは、水銀灯(ナトリウム灯を含む。)のＬＥＤ化を順次進めている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	既存の市街灯・防犯灯（蛍光灯及び水銀灯）
目的(何のために)	市街灯・防犯灯の省エネ、少メンテナンスによる環境負荷軽減のため
手段(どのようなやり方で)	省エネかつ長寿命なＬＥＤ器具へ取り替えること
成果(どのような状態にするのか)	修繕費や消費電力を削減するとともに、夜間の交通環境が整備されている

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	68,656	69,193	69,200	69,200	69,200	69,200	69,200
事業費	59,976	59,993	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	53,900	53,900	54,000	54,000	54,000	54,000	54,000
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	6,076	6,093	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
人件費計	8,680	9,200	9,200	9,200	9,200	9,200	9,200
事務・技術（人）	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0192
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1804　建設部道路・河川管理課
事務事業番号　02207　道路照明灯ＬＥＤ化推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-40-10-10-29-00-16-00	道路照明灯ＬＥＤ化推進事業費	建設部道路・河川管理課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)ＬＥＤ器具取替件数	件	600.00	900.00	1,200.00	1,500.00	1,800.00	2,100.00	2,400.00
		851.00	1,193.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)ＬＥＤ器具取替件数目標達成率	%	20.00	30.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		28.40	39.76	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)電力使用量	ｋＷｈ	0.00	0.00	2,452,024.00	2,368,583.00	2,285,142.00	2,201,702.00	2,118,261.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	市内全域のＬＥＤ器具の規格統一を図るため			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	計画的にＬＥＤ器具に取替え、夜間の安全確保に貢献しているため			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	不点灯修繕も同時に行え、迅速かつコスト削減も図られているため			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	夜間交通の安全確保や地域の防犯意識の高揚に寄与しているため			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	事業開始当初、約２４，０００基の蛍光灯具を計画的にＬＥＤ器具に更新することとし、令和４年度にすべて完了した。 令和５年度以降は、現状の事業規模を維持しながら、水銀灯具のＬＥＤ化を順次進めている。 令和６年度及び令和７年度は、道路附属物点検にて器具不良の判定を受けたものや、優先路線から計画的に交換を実施した。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	引き続き、水銀灯のLED化に取り組むとともに、最新器具の情報を収集し、更なる省電力化、照度の向上はもとより、夜間の景観に配慮し実施していく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1804　建設部道路・河川管理課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　02207　道路照明灯ＬＥＤ化推進事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)ＬＥＤ器具取替件数	件	600.00 851.00	900.00 1,193.00	1,200.00 0.00	1,500.00 0.00	1,800.00 0.00	2,100.00 0.00	2,400.00 0.00
	指標説明	水銀灯・ナトリウム灯からＬＥＤへの器具取替件数（灯数）						
(成果)ＬＥＤ器具取替件数目標達成率	%	20.00 28.40	30.00 39.76	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	ＬＥＤ器具取替件数（灯数）／令和４年度水銀灯・ナトリウム灯数　活動指標をベースとしており、実質同義の指標であることから、令和７年度をもって廃止し、より適切な成果指標として、年間の電力使用量を追加する。						
(成果)電力使用量	ｋＷｈ	0.00 0.00	0.00 0.00	2,452,024.00 0.00	2,368,583.00 0.00	2,285,142.00 0.00	2,201,702.00 0.00	2,118,261.00 0.00
	指標説明	市街灯・防犯灯の年間電力使用量						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0193
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　岡田　大斉
所属　1814　建設部建築課　記入者　前田　敏秀
事務事業番号　04166　公共施設定期点検事業

【基本情報】

総合計画	04	大津市総合計画　第3期実行計画			
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります			
基本政策	013	徹底した行財政改革を進め、確かな都市経営を進めます			
施策	031	持続可能な行財政運営			
取組の方向性	002	公共施設マネジメントの推進			
事務事業	019	公共施設定期点検事業			
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	建築基準法				
事業概要	建築基準法第12条第2項及び同条第4項の規定に基づき、又は同規定を準用し、市有施設を適正かつ安全に維持していくことを目的に、施設点検の実施による施設の劣化状況の把握や情報を基にした施設所管課へ技術的支援を行う。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境）かつての高度経済成長や人口増加を背景とした行政需要に対応するよう、これまで多くの公共施設を整備し、保有してきたところである。近年、多くの施設で老朽化が進んでいることから、施設の劣化状況を把握した上で、適切な維持保全や長寿命化を進めることが必要となっている。 （これまでの見直し） ・平成２５年度から情報端末・システムを活用した点検結果の情報の蓄積、整理を実施 ・平成３０年度から法令不適合箇所の改善のための予算措置に係る施設所管課支援を実施 ・令和８年度から点検対象（法定点検・任意点検）施設を整理し直し、また庁内情報システムを活用した点検結果等の施設情報共有を実施				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	建築基準法第12条に規定される建築物、建築設備等について
目的(何のために)	市有施設を適切に維持保全し、施設利用者に、安全・安心な利用をしていただくため
手段(どのようなやり方で)	点検技術者の育成や資機材（情報端末・システムを含む。）の適切な維持・更新をしつつ、施設の定期点検を実施して施設所管課へ点検結果等の保全管理に係る情報提供を行うことで
成果(どのような状態にするのか)	施設の安全性確保、長寿命化及びライフサイクルコストの縮減につなげる。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	292	18,764	36,241	36,241	36,241	36,241	36,241
事業費	292	1,944	9,656	9,656	9,656	9,656	9,656
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	292	1,944	9,656	9,656	9,656	9,656	9,656
人件費計	0	16,820	26,585	26,585	26,585	26,585	26,585
事務・技術（人）	0.00	1.36	2.13	2.13	2.13	2.13	2.13
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35
会計年度任用（人）	0.00	1.35	1.70	1.70	1.70	1.70	1.70
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0193
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1814　建設部建築課
事務事業番号　04166　公共施設定期点検事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-03-60-00-03-00	公共施設定期点検事業費	建設部建築課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
（活動）市有施設の法定点検の実施	実施数（件）	0.00	0.00	145.00	145.00	145.00	145.00	145.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（活動）市有施設の任意点検の実施	実施数（件）	0.00	0.00	33.00	11.00	11.00	11.00	11.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（成果）点検結果の蓄積及び通知	実施率（%）	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（活動）市有施設の定期点検の実施　※旧指標	点検施設数	284.00	285.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		284.00	284.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	施設点検を自ら行い、技術職員を育成し、点検結果等の情報を蓄積			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	点検結果等の情報を施設所管課へ提供し、施設の保全管理に活用			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	不良箇所の情報を端末・システムにより可視化し、効果的に運用			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	点検結果を踏まえた技術支援により施設の効率的な適正管理を推進			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	建築基準法第12条第2項及び同条第4項の規定に基づき、又は同規定を準用した施設点検を実施しており、引き続き、施設所管課へ点検結果等の保全管理に係る情報提供を行い、適切な維持保全の推進を通して施設の長寿命化やライフサイクルコスト縮減に取り組んでいく。 また、公共施設包括管理業務での同点検を通じ、点検実施の効率化を推進していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	施設点検による現状把握や情報を施設所管課等と共有し、既存施設の在り方検討、長寿命化等の改修工事に向けた取組を積極的に支援していく。 また、公共施設包括管理業務による民間活力を有効に活用しながら知見を深め、職員の技術力向上に努めていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1814　建設部建築課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　04166　公共施設定期点検事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
（活動）市有施設の法定点検の実施	実施数（件）	0.00 0.00	0.00 0.00	145.00 0.00	145.00 0.00	145.00 0.00	145.00 0.00	145.00 0.00
	指標説明	建築物及び建築設備の法定点検件数（包括管理業務対象施設除く。）　※令和７年度以降、公共施設適正管理推進事業を統合し、令和８年度から点検対象を整理の上、指標再設定						
（活動）市有施設の任意点検の実施	実施数（件）	0.00 0.00	0.00 0.00	33.00 0.00	11.00 0.00	11.00 0.00	11.00 0.00	11.00 0.00
	指標説明	建築物及び建築設備の任意点検件数（包括管理業務対象施設除く。令和９年度以降、３分の１ずつ実施）　※令和７年度以降、公共施設適正管理推進事業と統合し、令和８年度から点検対象を整理の上、指標再設定						
（成果）点検結果の蓄積及び通知	実施率（%）	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	法令点検結果をシステムデータに蓄積するとともに施設所管課に通知（包括管理業務対象施設除く。）　※令和７年度以降、公共施設適正管理推進事業と統合						
（活動）市有施設の定期点検の実施　※旧指標	点検施設数	284.00 284.00	285.00 284.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	建築物及び建築設備の定期点検実施の施設数　※令和７年度以降、公共施設適正管理推進事業と統合し、令和８年度から指標再設定に当たり当該指標を使用せず。						
（活動）防火設備点検の実施　※旧指標	点検施設数	117.00 116.00	117.00 116.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	防火設備の点検実施の施設数　※令和７年度以降、公共施設適正管理推進事業と統合し、令和８年度から指標再設定に当たり当該指標を使用せず。						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0194
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　岡田　大斉
所属　1814　建設部建築課　記入者　前田　敏秀
事務事業番号　04239　公共施設包括管理事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	013　徹底した行財政改革を進め、確かな都市経営を進めます				
施策	031　持続可能な行財政運営				
取組の方向性	002　公共施設マネジメントの推進				
事務事業	021　公共施設包括管理事業				
運営方法	民間委託				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等					
事業概要	市民センター、幼稚園・保育園、小中学校の維持管理業務を民間事業者へ一括委託する。 対象施設　１３４施設 対象業務　１９業務（各種保守点検、清掃、樹木管理、修繕等）				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	公共施設の維持管理業務については、これまで施設所管所属ごとに発注されていたことで、多くの事務労力を要し、施設の管理水準も均一でなかったことから、令和６年１１月より、事務の効率化、情報の一元化、管理水準の均質化を目的に、全国の自治体でも導入が進む包括的民間委託を開始した。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市有の公共施設（市民センター、幼稚園・保育園、小中学校）の維持管理業務
目的(何のために)	事務の効率化、情報の一元化、管理水準の均質化を目的に
手段(どのようなやり方で)	各種保守点検業務、修繕等を一括化して包括的に民間委託することで
成果(どのような状態にするのか)	職員の事務負担を軽減するとともに、施設の不具合修繕がより迅速、計画的に行え、施設の安全性確保、利便性が向上し、市民が安全、安心に施設サービスを受けられるようになる。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	204,574	770,397	809,875	951,294	809,478	809,478	809,478
事業費	182,734	733,549	771,300	912,719	770,903	770,903	770,903
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	3,279	0	0	0	0	0
一般財源	182,734	730,270	771,300	912,719	770,903	770,903	770,903
人件費計	21,840	36,848	38,575	38,575	38,575	38,575	38,575
事務・技術（人）	2.80	3.99	4.07	4.07	4.07	4.07	4.07
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
会計年度任用（人）	0.00	1.12	1.30	1.30	1.30	1.30	1.30
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0194
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1814　建設部建築課
事務事業番号　04239　公共施設包括管理事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-10-05-03-60-00-20-00	公共施設包括管理事業費	建設部建築課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
（活動）修繕予算執行率	%	100.00 95.90	100.00 99.90	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
（成果）施設・設備状況の満足度	%	100.00 87.50	100.00 92.10	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
（成果）修繕対応の満足度	%	100.00 74.10	100.00 71.70	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	包括的委託による民間事業者の創意工夫、ノウハウ活用が図れる			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	令和７年度から全１９業務を実施できたが、満足度向上に余地あり			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	複数施設・複数業務の包括的委託による一括管理が行える			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	事務の効率化、施設の適切な維持保全に繋がっている			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	令和６年１１月より公共施設の維持管理に係る業務を民間事業者へ一括委託し、令和７年度からは全対象業務（計１９業務）を実施できた。 今後とも、受託事業者の業務履行状況をモニタリングすることによって各業務水準を維持し、引き続き、本業務の効果を高めるよう、民間ノウハウを活用した一元管理による事務の効率化、情報の集約、管理水準の均質化を進めるとともに、施設所管所属、施設管理者、営繕担当部門との連携強化に取り組んでいく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	各種点検結果や修繕履歴等の情報の集約を進め、より計画的、均質的な修繕に取り組むと共に、施設所管課等と連携・共有し、施設の適切な維持保全を推進していく。 また、民間活力を有効に活用しながら一層の効率化を図り、導入効果の向上に努めていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1814　建設部建築課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　04239　公共施設包括管理事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
（活動）修繕予算執行率	%	100.00 95.90	100.00 99.90	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	修繕予算（当該年度の最終予算額）の執行率						
（成果）施設・設備状況の満足度	%	100.00 87.50	100.00 92.10	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	施設管理担当職員へのアンケート調査「施設・設備の状況」における５段階評価での３以上の割合						
（成果）修繕対応の満足度	%	100.00 74.10	100.00 71.70	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	施設管理担当職員へのアンケート調査「修繕依頼への対応」における５段階評価での３以上の割合						